

1. 視察日時 令和 7 年 10 月 15 日 (水)・16 日 (木)

2. 視察地及び視察内容

滋賀県竜王町：こどもまんなかの取組について、スポーツライミングの取組について
滋賀県米原市：地域お茶の間創造事業の取組について

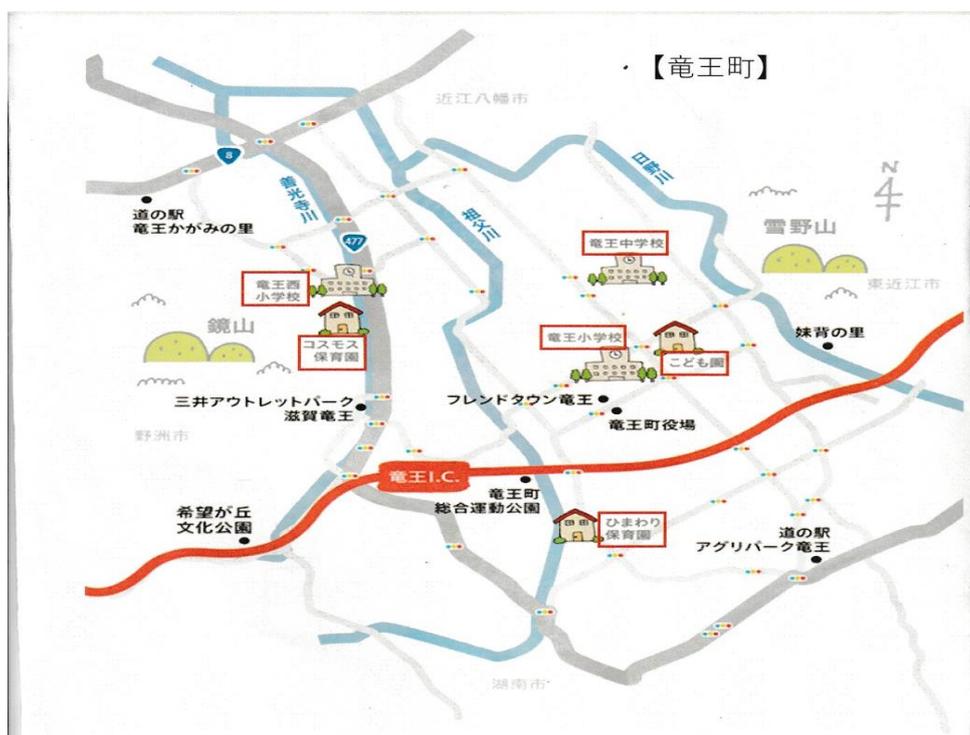
3. 視察内容

・1 日目

【滋賀県竜王町の概要】

1988 年に全国の「竜」「龍」のつく 15 市町村により結成されたドラゴンサミット。その中に竜王町と龍ヶ崎市が含まれていました。毎年各所でサミットが行われ 2004 年に龍ヶ崎市で第 16 回サミットが行われたのが最後に休止となっています。平成の大合併により「竜」「龍」のつく自治体が減少しましたが、自治体名が変わらない竜王町と龍ヶ崎市です。

竜王町は人口 11,120 人。町内には竜王インターチェンジを境に北はアウトレットパーク、道の駅「竜王かがみの里」、南は体験交流型道の駅「アグリパーク竜王」があり観光スポットが充実していて県内外から多くの方が訪れています。また県内最大級の工場として稼働する大手自動車工場のほか「滋賀竜王工業団地」、「滋賀三面工業団地」では新たな企業立地が進み、町の活力源となっています。企業があるため日中人口は大きく増加し 17,000 人くらいになるとのことでした。今後は住まいの確保が人口減少への歯止めをかけ人口を増やすポイントになると感じました。



〈こどもまんなかの取組について〉

令和5年6月「すまいるアクション取組宣言」および「こどもまんなか応援サポート宣言」をして子育て支援策をおこなっています。その中の、「竜王町こどもまんなか会議」「就学前児童誕生日祝金事業」について研修しました。

★竜王町こどもまんなか会議

・取組で期待できる効果は

町への関心や愛着、政治や社会参画への興味・関心、住みたい町。住み続けたい町のビジョンの共有、こどもや若い世代の活気があふれる町づくり

・主役はこども

令和6年度開催

対象：小学4年生から中学3年生

内容：第1回 キックオフミーティング（会のはじまりと関心の見える化）

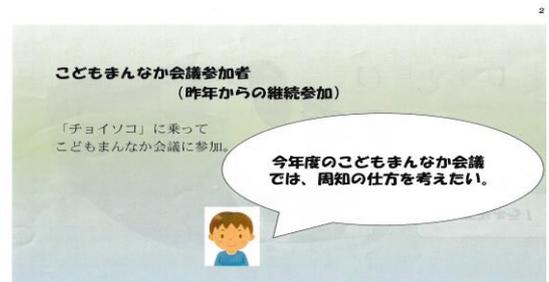
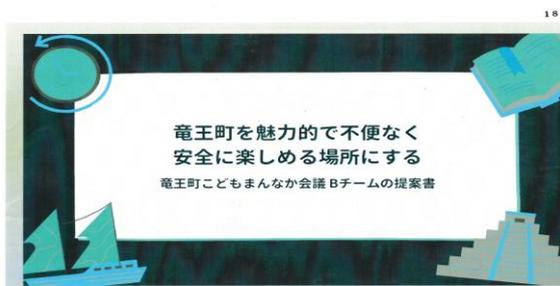
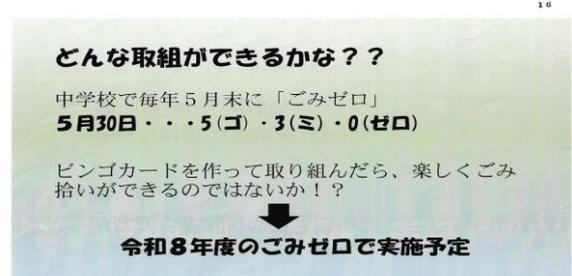
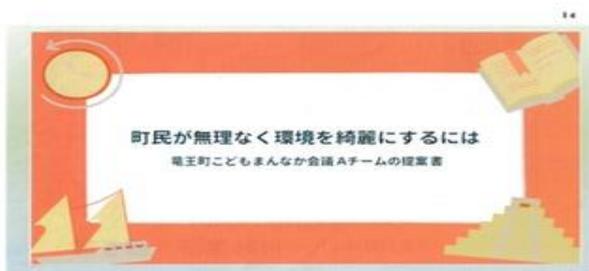
第2回 テーマを深める（自分の「なぜ？」を言葉にしてみる）

第3回 グループインタビュー（町関係者との質疑）

第4回 発表準備（発表の台本作りや打ち合わせ）

第5回 提案発表（町に届ける）

～チームからのプレゼンテーション～



今年度は小学5年生から高校3年生22名が参加をして会議を行っています。こどもたちが積極的に町への課題を考えてアイデアを出し合い、町を変えていく。子供たちの町への思いが感じられました。

★就学前児童誕生日祝金事業

・目的

こどもや保護者に寄り添う「伴奏型相談支援」の充実

・事業の内容

竜王町在住の就学前のこどもを対象に誕生日以降に面談を実施してメッセージカード、商品券1万円分と三井アウトレットパークからの1,000円分お買物券（協賛）をプレゼント就学するまで毎年行っています。

・効果

面談をすることが大前提のため面談により相談を受けて他機関へ繋いだ事例も多いことがまさに伴奏型相談支援といえます。

驚くのは利用状況です。未実施が0人！対象児童すべてが対面による面談ができています。

★ほかに

ダイハツ工業株式会社および滋賀ダイハツ販売株式会社の協力をいただき、子育てを支援する『ダイハツ竜の子ファミリー車提供制度』を実施しています。

第2子を出産 軽自動車、第3子以上を出産 乗用車 3年間無償提供。

利用状況は・・・。

令和3年度 第2子：12人 第3子：9人

令和4年度 第2子：7人 第3子：2人

令和5年度 第2子：5人 第3子：4人

令和6年度 第2子：8人 第3子：7人

令和7年度 第2子：3人（10月現在）

企業協力の子育て支援は魅力的でした。

〈スポーツクライミングの取組について〉

竜王町総合運動公園には屋根付きグラウンド（ドラゴンハット）やスポーツジム、テニスコート、体育館、プール、弓道室などがあり一角にドラゴンボルタリングジムがあります。メインウォールとサブウォールが整備されていてスクールなど多くの方に利用をされています。時にはダンス発表会などに利用して利用状況アップにつなげています。

今回の国スポは屋根付きグラウンドに大会用ウォールを設置し、競技会が開催されました

ドラゴンボルタリングジム

メインウォール

幅 20.0m×高さ 4.5m

サブウォール

幅 14.3m×高さ 3.0m



・ 2 日目

【滋賀県米原市の概要】（R7.10.1 時点）

米原市は人口 36,835 人。面積は 250.39 平方キロメートル。

龍ヶ崎市は人口 74,609 人。面積は 78.59 平方キロメートル。

人口は龍ヶ崎市の半分ですが面積は 3 倍以上という広さです。新幹線の駅があり米原駅直結の連絡通路から市役所本庁舎 3 階につながっています。

〈地域お茶の間創造事業について〉

高齢者や障がい者など、支援を必要とする人を地域で見守り、支えるため、地域とのコミュニケーションづくり（顔の見える関係づくり）

+

意欲と能力のある元気な高齢者が活躍できる場づくり

⇓

地域で気軽に集まることができる『居場所』をつくり、『互助』によるコミュニティの構築と地域の活性化を図る

平成 25 年度から開始しています。7 団体からスタートをし、現在は 35 団体が活動しています。

開始当初に地域のニーズを把握するため市と社会福祉協議会で 1 軒 30 分から 1 時間かけて丁寧な調査を行いました。調査から専門性が不要で誰でもお手伝いができることが分かり自分たちで「できること」と「住民のやって欲しいこと」をつなげるちょっとした助け合い活動からスタートしました。

内容は様々、週に数回開催のカフェや開設に合わせて個人商店が移動販売にきてくれる。24 時間オープンミニミニ 100 円ショップ。カフェまで来られない方の送迎や買い物などの移動支援。積雪時の除雪支援など。地域のニーズにあった取り組みを各団体が行っています。

この事業の効果は大きくお茶の間に参加している人は要介護状態になりにくいことが分かっているそうです。

筑波大学との共同研究によりますと参加している人と非参加と比べると介護給付費用が 2.5 倍の差があるそうです。様々効果があることがわかりました。

取組の必要性と実施するためのニーズ調査は大事なことも感じました。

今回の視察を終えて。

竜王町、米原市ともに顔の見える関係づくり、きめ細やかな対応が必須の取組でした。簡素化されていく時代ではありますが心が通う温かい支援策がまだまだ必要とされていることを実感できる視察研修でした。

米原市役所 3 F には、ちょっとした打合せや休憩など、誰でも自由に利用することができる市民活動スペースがあり学生さんが勉強していました。龍ヶ崎市の RINK のような施設でした。

